

## 「令和元年 職能合同集会」

### 「地域包括ケアシステムにおける

### アドバンス・ケア・プランニング」

かごしま県民交流センターにて三職能合同研修会が行われ、参加者は 498 名でした。はじめに、保健師・助産師・看護職 I・II の職能委員長より平成 30 年度の活動報告がありました。

次に、宮崎大学大学院 医学部獣医学総合研究科 医学社会医学講座生命・医療倫理学分野 教授 板井 孝太郎先生を講師にお迎えし、「地域包括ケアシステムにおけるアドバンス・ケア・プランニング」というテーマで特別講演をしていただきました。講義内容は、臨床倫理について、「救命」「延命」の違い、リビングウィル、エンディングノート、アドバンス・ケア・プランニング等でした。臨床倫理部部长として、経験豊富な先生だからできる、興味を引き付けられる話術のおかげで楽しくもあり、医療者としてその人らしく生きるためにどうあるべきか等多くのことを考えられる時間となりました。



また、ひとりひとりが自分らしく生きるために避けられない死に対してその人らしく最後まで「生ききる」ための考え方や医療者としてどのような知識を身につけるべきかを学ぶことができました。

全国的にも取り上げられた「エンディングノート」について宮崎市で配布されている「わたしの思いをつなぐノート」をもとに宮崎市の取り組みについて話されました。その中から、前向きにこれから「生ききる」ために家族で何度も話し合う事が必要で、その過程では、延命治療を望む・望まないと揺れ動く気持ちに寄り添うこと、また、それを支援するために地域特性を活かし、医療・看護・介護・消防等が協働し、支援体制を整備し地域全体で取り組むことの重要性を学びました。

